**「ナオキング調査団SUPER」授業　解説プリント**

１．テーマ 「介護職の仕事について」～超高齢社会の問題と介護職の専門性の理解を深めよう～

２．ねらい （１）超高齢社会を社会全体の問題として考える機会とする。

　　　　　　 　 （２）介護現場の実際を知り、介護職に対する興味や関心を高める。

3.授業進行案

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 時間配分の目安 | 生徒に対する問い・説明の内容例 |   |
| 導入3分（2分） | 説明 | 今日の授業では、日本の社会問題である「超高齢社会」について理解を深めながら、介護現場で行われている仕事の内容について学ぶ。 |  |
| 問い | 「超高齢社会」という言葉を聞いたことがあるか尋ねる。 | 聞いたことがある、意味はわからない |
| 説明 | 「超高齢社会」とは、65歳以上の人口が、全人口に対して21%を超えている社会。このことは、日本の社会問題ともいわれている。 |  |
| 問い | 生徒の身近な高齢者について尋ねる。 | 祖父母、近隣住民、ボランティアの方 |
| 問い | その人は、介護が必要な人か尋ねる。 | 施設で暮らしているため必要、一人暮らしをしているため不要 |
| 説明 | 現時点では元気で介護を必要としていない人も、必ず人間は老いるため、介護が必要になる。ただし、老いだけではなく、病気や事故などで介護が必要となる場合もある。 |  |
| 問い | 例えば、家族の誰かが介護が必要になったとき、介護するのは誰なのかについて尋ねる。 | 父母、祖父母のどちらか、施設 |
| 説明 | 人によっては、24時間介護が必要な人もいて、大事な家族であっても1人で介護をするということは、身体的にも精神的にもとても大変なこと。実際に、仕事や学校を辞めて介護をしている人もいる。こんな時に、介護が必要になった人の暮らしを家族に代わって、もしくは家族と一緒に支援するのが介護職という仕事。 |  |
| ２４分（2４分） | 動画視聴　　　テーマ１（約　４分）　超高齢社会と介護職の人材不足が影響する日本の危機について学ぼう！テーマ２（約２０分）　現役中学生が最前線の介護職場に潜入！プロの介護について学ぼう！ |
| ５分（５分） | 動画視聴後に授業プリントを配布　 |
| 個人ワーク　　 |
| ８分（８分） | グループワーク（４人～６人） |
| ５分（３分） | グループでの話し合いの結果を全体に共有する。 |
| まとめ５分（3分） | 説明 | グループ発表にふれながら、まとめを行う。〔まとめ〕★超高齢社会では、介護職が不足し、介護難民が増加する。　社会生活を維持するためにも社会全体の問題として考える必要がある。★介護の職場はICTを活用して働き方が変化している。★介護の仕事は、人でなければ成り立たない仕事であり、AIが進化してもなくならない仕事である。★介護の仕事とは、科学的根拠に基づいた介護技術と介護が必要になった人のその人らしさを支援する専門性がある。興味をもった人は、福祉施設の職場体験やボランティアに参加してみましょう。 |  |

※時間配分の目安は、中学校50分授業を想定。　（　　）内は、小学校45分授業を想定。

４．ワークシート（参考）　※動画内で伝えている主な内容が赤字になっています。

　　月　　　日

**「ナオキング調査団SUPER」**

**ワークシート**

　　　年　　　組　　　番　　名前

●「介護」に対してどのようなイメージをもっていますか？

|  |
| --- |
|  |

●「超高齢社会」や「介護職の人材不足」が社会問題とされる理由はなんですか？

|  |
| --- |
| ・介護難民（介護が必要なのに介護サービスを受けれずに困っている人）が増加してしまう。・要介護者の家族は介護をするために仕事ができなくなる人が増加してしまう。　　等 |

●ＩＣＴを活用した介護のメリットはなんですか？

|  |
| --- |
| ・利用者の身体の状態や生活データを職員で共有することができる。・事務作業が減り,利用者ひとりひとりと関わる時間が増える。　　　等 |

●介護はどんな仕事だと感じましたか？

|  |
| --- |
| ・利用者によりそった工夫が大切・その人のできることは奪わないケア・目の動きだけでその人の思いを汲み取ることができる・人間の身体構造やその人の身体状況を理解しそれぞれに合わせたケアをする・利用者さんに役割や仕事を担ってもらうことも大切なケア・人生に寄り添いその人らしさを支えることは認知症予防や進行抑制につながる・利用者ひとりひとりのその人らしさを支える仕事　　　　　　　　　　　等 |

●感想